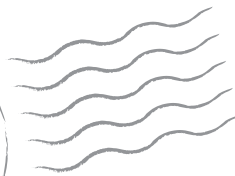


わおん 通信



2018
冬号
vol.31



特集

まちの中心から「環境」を考える1日

おもしろ環境まつり2018



CONTENTS

P2 - P3

県内地域の取組

宮子姫みなとフェスタに出展
次世代エネルギーパーク有田川町を訪ねて
「エシカル消費」って知っていますか
きのかわ産業まつり&食育フェア出展

推進員 克ちゃんの

ああしたら こうなった 6 (全6回) 最終回

P4 - P5

まちの中心から「環境」を考える1日

おもしろ環境まつり2018

なるほど ザ・ワード

P6 県情報

エコカー検定にチャレンジ!

P7

推進員さん訪問記²⁶
COP24開幕

P8

INFORMATION



宮子姫みなど フェスタに出展

2018年10月14日
御坊市日高港

[エコネット紀中]

1年前は前日の雨により足元が悪く、寒さに震えた一日

でしたが、今年は開催が1ヶ月早かったこともあり日焼けする位の秋晴れとなりました。会場では、イベントタイトルにもなっている宮子姫が、奈良時代に御坊で生まれたエピソード「髪長姫伝説」にちなんだ時代行列や、地元の婦人らによるハワイアンフラ、よさこいグループの演舞、メイイベントとして吉本芸人の「お笑いオンステージ」が会場を笑いの渦に巻き込んでいました。エコネット紀中では気候変動のパネルをはじめ、今、問題になっているマイクロプラスチック(海ゴミ)の現状を紹介するパネルも展示。家庭のエコチェックでは20代から70代の150人に回答してもらいましたが、既に「実行中」の項目にチェックを入れる人の多さに感心しました。今回は有田地区、日高地区から6人の推進員が参加。推進員同士の交流もでき、楽しい一日となりました。

(推進員 櫻村 健)

次世代エネルギーパーク 有田川町を訪ねて

2018年10月19日
有田川町

[サステナブル・フォーラムわかやま]

地域の豊かな暮らしについて先駆的に行われている取組を知ろうと、有田川町への見学ツアーを実施しました。現地では、有田川町環境衛生課の職員から説明を受けました。最初に旧吉備町で取り組んだのがゴミのリサイクルで、ゴミステーションに住民がゴミを持ってきて、「空缶」「空瓶」「プラ」「ペット」など8種に分別する仕組みを作り上げました。当時、年3,200万円を回収業者に支出していましたが、質の良い資源ゴミとして年200万円の収入と代わり、この収支差を原資に基金を設立し、毎年積み立てて、



「太陽光発電」「太陽熱」「コンポスト」の助成制度を設けました。そして平成28年には、町営小水力発電所が完成。町内にある県営三川ダムでは、川の環境を守るため常時水を放流しています。この放流水に着目し、平成21年に町は「小水力発電所計画」をまとめ県に協議を申込みました。難航しながらも、協議が成立し、基金の活用で2億8,600万円を設置。現在発電所は、毎秒0.7tの水で199kw/Hを発電し、年5,000万円もの収益を上げています。和歌山市でもこのような取組を参考に、私達市民がどのような活動を展開していくかにつ

「エシカル消費」って 知っていますか

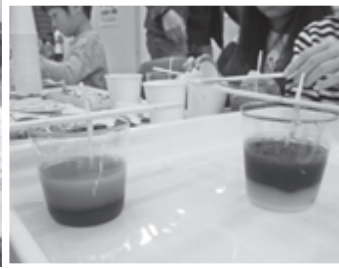
2018年11月4日
第1回橋本市消費者交流会
「はしもとコンシューマーミーティング」
和歌山県立橋本体育館

[伊都・橋本地球温暖化対策協議会]

いて、今後深めていきたいと感じました。

(推進員 大橋友紀)

「人と社会、地球環境、地域のことを考えた買い物(消費)をしよう」とするエシカル消費の考え方をPRする橋本市で初めてのイベントが開催されました。講演会や、リサイクル、地産地消のPRブースなどに、大勢の来場がありました。伊都・橋本地球温暖化対策協議会は「捨てずに活かすワークショップ」として、天ぶらの廃油を使った「エコキャンドルづくり」を出展。大人や子供など約80名の参加で、時間待ちが出るほどの盛況ぶりでした。使い終



わった油をそのまま捨てるのではなく、再利用していくことも「エシカル」という考え方が暮らしに加わるきっかけとして印象づけられました。今後、「環境と地域に配慮した消費」をテーマにした「オーガニック料理教室」も企画しており、「エシカル消費」とともに「食の安全」もPRしていきたいと考えています。

(推進員 黒井成男)

紀の川市産業まつり & 食育フェア出展

2018年11月11日
紀の川市貴志川体育館

[エコネットきのかわ]

今年も恒例の地域イベントで地球温暖化防止の啓発を行いました。もともとこのイベントは、農産物の品評会が展開して産業まつりとなり、やがて別開催だった食育フェアと合体し、紀の川市最大のイベントになりました。ステージでは和歌山出身のコンビ「すみたに」の司会で、農産物品評会の表彰式やお笑いライブ、音楽ライブなど盛りだくさんの内容。そのほか品評会出品物の展示販売、地場産品の販売や、保育園児の食育に関する絵画展もありました。多くの来場者が押寄せる中、エコネットきのかわでは、家庭のエコチェックのアン



ケートを推進員8名が付き切りで実施。用意した300枚のアンケートはブースを訪れた参加者らによつてすべて記入されました。また参加者には、メンバー関係者から提供された梅干しや黒米、果物、野菜などを配布。和歌山ならではの味覚を受け取りながら、自宅でのエネルギー利用についても再認識した様子でした。

(推進員 樫村 健)

推進員
克ちゃんの

ああしたら こうなった

6回シリーズ

エコハウスにしたらカミさんがやってきた！ 6 最終回

<そしてそして、カミさんがやってきた！>

さて、この熱システムは現在も順調に稼働しています。それなりに思い切った決断でしたが、実際の暮らしで使ってみることで本や話では得られない知識や考え方を習得できたと思います。これはかなり先に行ったシステムですが、少し手間をかけていいならペレットの代わりに薪ボイラーにしてみることもできますし、太陽熱とガスの組み合わせなら日本のメーカーでも販売されています。大型のものを集合住宅に設置すればCO₂ゼロのお湯と暖房が売り文句になる時代も近

いと思います。

こんな少しとんがった家を建てた結果、今では美人の奥さんにペレットボイラーの使い方を教えることになりましたよ。これこそお金では買えませんね。

(完)

このコーナーでは推進員の方々のCO₂削減活動を募集しています。ぜひ、「私はこんな活動をしました」という声をお寄せください。

まちの中心から「環境」を考える1日 おもしろ環境まつり2018

昨年からの新たな試み

イベントの魅力をもっと多くの方に知ってもらうため、前回の体育館開催から街に飛び出し、JR和歌山駅近くにある「みその商店街」が選ばれました。来場者が気軽に立ち寄れる、公共交通の利用、アクセスの良さ、一日中快適に過ごしてもらおう、お腹も満たせるなど、昨年実施からのさまざまな意見をもとに駅から近くてわかりやすい場所として決定しました。



商店街というと全国的にシャッターの閉まった場所という印象がありますが、みその商店街は十数のNPO団体が活動拠点としており、最近注目されています。この商店街を会場とすることで多様な市民団体の協力を得たり、出展先を広げられたりするメリットもあげられました。福祉や子育てといったテーマで活動する団体も「環境」というキーワードのもとに集まり

ました。

『ごみ⇒アート』で一体感

会場は、昨年に引き続き、「廃材」「海(漂着)ごみ」「廃プラスチック製品」を利用し、イベントそのものを3Rで展開。



全体のプロデュースは前号で紹介されたWooky富士原さん。会場のテーマ分けを示すオブジェやメインステージのデザインは、スタッフメンバーの石田真也さんが手がける印象的なデザインで統一されました。

和歌山をはじめ、日本各地で打ち上げられた国内外の廃プラスチックや流木を使い、テーマを示す5色のオブジェが、アーケードの天井から吊り下げられると、平常時の商店街の空気が一変。おまつり会場として一気に盛り上げました。それまで何が起ころのかと不思議そうに見守っていた商店街の方々も、百聞は一見に如かず。「いよいよやねー」「楽しみやわー」と

声をかけてくれるなど、まつりへの一体感が会場に流れました。

出展団体は、62団体、50ブース。防災、福祉といった暮らしにつながるテーマも加わり、さらにどこでも誰でも楽しめるスポーツも出展しました。また、現役中学生による外来生物を実際に見たりさわったりできる体験ブースなど学生主体の出展もありました。



小学生が大活躍

わかやまこどもエコチャレンジ(環境絵日記) 3,130点の展示を行いました。空き店舗のシャッターを借りて全てのエコチャレンジ作品の貼り出しが商店街の協力を得て実現しました。体験をメインにした出展と合わせて、より親しみやすくじっくりと観てもらう事ができました。

来場者からは、「親子で観ること

ができたので、アイデアや情報を同時に共有することができてよかった」「今日帰ったら『歯磨きするときに水をとめる』をやってみます」という感想がありました。



まつり会場中央にあるメインステージでは、和歌山市立和歌浦小学校3年生の児童6名による学習発表が行われました。

和歌浦干潟という身近な地域で起こっているアサリの減少という課題を知り、理解を深めるため、外部の専門講師の指導の下、学習したレポートを発表しました。

続いて来場者にアサリのことをもっと知ってもらうため、アサリクイズを出題。「アサリは何年生き

るの?」「何の仲間?」など、大人も考えさせられる問題ばかりでした。

発表が始まる前はとても緊張した様子の児童達でしたが、発表が進むにつれて元気づき、そして丁寧に話してくれた姿が印象的でした。

イベント来場者の反応

集まった1,500人の来場者からは、このイベントに対するさまざまな反応がありました。「温かい雰囲気よかった」「商店街の人も、スタッフもみんな優しく楽しそうだったのがよかった」「明るかった」「全部まわれなかったの、来年も来ます」という声がありました。



まつりの終わり→次の取組へのはじまりへ

今回のイベント開催を通じて、

日常では感じる事ができなかった海(漂着)ごみの実態を、身近な場所に“あるもの”として気づくことになりました。

また商店街そのものが持っている忘れられかけていた魅力(レトロな建築物、人の温かさ)として気づくことができました。

さらに、会場で様々な体験をしたり、自分のエコチャレ作品を発見したりした時の、子供達の目が輝く瞬間にも立ち会うことができました。

来場者、出展者などこのイベントに関わったすべての人が「環境」というキーワードを前向きに捉え、楽しむ機会となりました。

「環境」と「おもしろい」を「まつり」でつなぐ機会として、今後も開催を重ねていきたいと思えます。

おもしろ環境まつりの情報は、Webサイトからもご覧いただけます。https://wenet.info/ok/



なるほどサ・ワード

SDGs (エスディーゼイズ)

「SDGs」は、Sustainable Development Goalsの略号で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。持続可能というと、例えば自然を持続させることだと受け止める人もいるでしょうし、経済社会を持続させるためには環境も持続させなければならないという考えの人もいます。受け止め方は様々です。その点「SDGs」は分かりやすく、「2030年までに世界中の皆が幸せになる」ことを目標に掲げています。皆が幸せになるための具体的な人間の行動の全体こそが開発の意味だと位置づけ、自然保護は当然で、貧困の解決、人種や男女差別の根絶にも挑戦するというものです。2015年の国連会議で採択され、日本はもちろん、世界中の先進国、途上国の大半が支持している世界的運動です。

「SDGs」には17の分野別の目標と、169項目のターゲット(達成基準)が盛り込まれています。17の目標は、1) 貧困をなくす、2) 飢餓をゼロに、3) 人々に保健と福祉を、4) 質の高い教育をみんなに、5) ジェンダーの平等、6) 安全な水とトイレを世界中に、7) エネルギーをみんなに、そしてクリーンに、8) 働きがいも経済成長も、9) 産業と技術革新の基盤をつくろう、10) 人や国の不平等をなくそう、11) 住み続けられるまちづくりを、12) つくる責任つかう責任、13) 気候変動に具体的な対策を、14) 海の豊かさを守ろう、15) 陸の豊かさを守ろう、16) 平和と公正をすべての人に、17) パートナリシップで目標を達成しよう、です。これらの目標を2030年までに達成し「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」ことを誓うなど、住む場所や文化、宗教や思想、立場の違いを越えて世界中の誰もが幸せになろうというワクワクする世界的運動です。

動です。

「SDGs」は、国連で2001年に策定された「ミレニアム開発目標 (MDGs)」の後継目標となりますが、「MDGs」は極度の貧困と飢餓の撲滅など2015年までに達成すべき8つの目標を掲げたものでした。次の15年間でさらに目標を高めたものが「SDGs」です。日本は、この手の話をなかなか受け容れない国だと思われがちですが、すでに多くの行政施策に取り込まれ、熱心な企業や大学も増えています。国民の理解度はまだまだ低いようですが、いずれは当たり前の話になっていくはず、いや、なってくれないと困ります。

この原稿は、台湾で開催された生態学系の国際会議の会期中に書いていますが、台湾の若い学生さんは「SDGs」の話を担当のこととして英語で議論しています。少し前、日本の大学で100名ほどの学生さんに聞いたところ、誰も「知らない」と答えました。日本人は世界の動きに鈍感なのか、

自分のこと以外には興味が無いのか、とにかく、世界とは別の行動を取りたがる悪癖があります。世界に貢献する責任を果たしてこそその先進国です。豊かな資金を持っているから先進国だという旧世紀の亡霊を今こそ振り払う必要があります。「SDGs」が掲げられた国際社会において、先進国であるはずの日本の活躍に期待したいものです。



STOP温暖化・焦点の言葉

*地球温暖化をめぐる報道などで、いま焦点となっている言葉を簡単に解説します

エコカー検定にチャレンジ!

関西広域連合では、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車及び水素の魅力や知識を楽しく知っていただくために「エコカー検定」を実施します。あなたのエコカー知識を試してみませんか。

- 1 **検定期間** 平成30年12月7日（金）～平成31年1月7日（月）
- 2 **受験資格** 主催府県および共催県に居住もしくは通学・通勤している方（年齢は問いません）
（主催府県：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、徳島県、京都市、大阪府、堺市、神戸市 共催県：鳥取県）
- 3 **検定料** 無料
- 4 **受検方法** ネットまたは郵送・持参

○しがネット受付サービス

アドバンス

https://s-kantan.jp/pref-shiga-u/offer/offerDetail_initDisplay.action?tempSeq=6032&accessFrom=

スタンダード

https://s-kantan.jp/pref-shiga-u/offer/offerDetail_initDisplay.action?tempSeq=6033&accessFrom=

アドバンス



スタンダード



○郵送、持参

検定問題を入手して、事務局へ郵送 または 和歌山県環境生活総務課へ持参提出

検定問題入手方法→①関西広域連合ウェブサイトからダウンロード

②和歌山県環境生活総務課 または 県センターを訪問して受取る

③郵送で請求する（120円分の切手を貼った角2の返信用封筒（送付先郵便番号、住所、氏名を記入してください）を同封し、切手下に赤字で「エコカー検定問題・解答票送付希望」と記載して送付。宛先は6を参照してください。）

5 賞

- ・高得点者賞(旅行券) アドバンス 1位：2万円相当 2位：1万円相当 3位：5千円相当（各1名）
スタンダード 1位：5千円相当 2位：3千円相当 3位：2千円相当（各1名）
- ・合格者賞(図書カード) 各級あわせて300名に500円相当

6 事務局

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1

関西広域連合広域環境保全局温暖化対策課（滋賀県温暖化対策課）

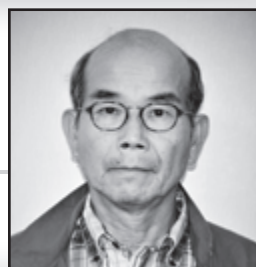
電話：077-528-3494



未来のために、
いま選ぼう。

松っちゃんの

推進員さん ひよっこ 訪問記



橋本市 畑田 澄夫さん

新しい意見です。「推進員は温暖化防止の活動だけでなく、温暖化による被災者の支援をすることも必要ではないか？」

橋本市にお住まいの畑田澄夫さんは第12期生で愛知県生まれの愛知県育ち、山や自然が大好きでした。大阪府庁に管理栄養士として就職、府庁や病院、保健所等に勤務して食生活の向上を仕事としてきました。そして日本で初めての“飲食店での食品カロリー表示”を手がけたと言います。昭和56年に夫婦で自然豊かな橋本市にマイホームを購入、退職後は休耕田を借りての畑仕事と4年前から、はしもと里山学校の活動に参加するようになりました。畑と里山学校での米作りで名字の「畑・田」を実現したというわけです。

推進員への応募動機は、はしもと里山学校のメンバーに勤められたから。講座では温暖化への取組の必要性を感じたが、同時に世界各国の取組に差があることに驚いたと言います。また絶滅危惧種が増えていることにも危機感を感じたと。

推進員の活動としてはエコランドいと・はしもと(伊都・橋本地球温暖化対策協議会)に所属、夏休みの「こどもエコチャレンジ教室」ではスタッフとしてエコキャンドルやエコせっけん、空き缶リメイク、カラフルチョーク作り等を指導しています。この取組は橋本市や教育委員会を巻き込んだもので、

毎年リピーターが親子で増えていると言います。また市の生活環境課とも年に一回の懇談会を設けて、温暖化について話し合っているとも。

はしもと里山学校では大手企業の協賛で、のべ2500人が参加する田植え、稲刈り、生き物観察会、どろんこオリンピック、ハーベスト祭り等を行っています。そのために週に1~2回は田圃に通っているとか。

自身としては畑作りの他に、クーラーはあまり付けない、炊飯はほとんど土鍋、担当の買い物はエコバッグ、車はあまり乗らないでバイクを使用、お湯は朝沸かして魔法瓶に入れておく等を実践、夏のゴーヤカーテンは楽しみだが最近はあまり苦くない味で今一とか。

畑田さんは言います、ボランティアとして地元の人と一緒になっての米や野菜作り、料理体験、自然とふれあう活動が楽しいと。また職業柄、生きるための第一の基本は食べ物だからもっと食べ物を大事にしてほしいと。地域を守るために子供達に生態系や生き物への関心を深めてほしいと。そして、今年の天候の激変が心配であると同時に、冒頭の新しい意見もお持ちでした。

推進員の「適応」としての新たな役目かもしれません。

COP24開幕

2018年12月2日~14日 カトヴィツェ [ポーランド]

世界ではCOP24 [国連気候変動枠組条約第24回締約国会議] が開幕。過去の議長4人が異例の基調講演を行うなど、事態の深刻かつ重要な状況をあらわす格好でスタートしました。2015年に採択されたパリ協定からの具体的な取組、とりわけ思い切った削減が求められています。今回は速報ベースでのポイントをお知らせいたします。

①COP24何が違う? 「IPCCからの報告」

今年10月に特別報告書を発表したIPCC [気候変動に関する政府間パネル] は、1) 産業革命より前と比較して1.5℃に抑える必要がある、2) その目標のためには、温室効果ガスの排出量を2030年までに45%削減しなければならない、といった内容が盛り込まれています。

②日本のアピール

以下の貢献姿勢についてアピールしています。1) 途上国への資金支援として1兆3000億円の拠出、2) 温室

効果ガスのデータを各国に提供 という2つの項目をあげています。2) については、温室効果ガスを観測する衛星「いぶき2号」が高い観測精度によって、大気中の二酸化炭素が自然由来のものか、人為的に排出したものであるかを区別できることなどを強調。排出量を知ることによって対策を進めることができるという評価が得られています。

一方で、エネルギー分野における批判を受けています。二酸化炭素排出量の多い「石炭火力発電」の融資額の上位を日本の大手銀行が占めるとした調査結果がドイツのNGOから出され、「温暖化対策に反する」という指摘を受けています。

こうした状況について、推進員はもとより日本の国民全体が関心をもってどのような手立てを構築できるかが求められています。(※COP24特集は次号で掲載予定です)

イベント情報

◆わかやまCOOL CHOICEコンテスト わかやま クールチョイス 検索

まもなく しめ切り：期間延長⇒2019年1月31日(木)まで！

緊急募集 「おしえて！あなたの冬対策」

いよいよ、冬の到来に向けてあなたが実践する“あったか対策”を大々的に募集しています！

◆人と自然をつなぐシンポジウム

2019年1月13日(日) 13:00～16:00

場所：橋本市民会館

橋本市東家1-6-27

主催：和歌山県自然環境室

内容：講演「里山の自然をみつめて」、事例発表
パネルディスカッション「和歌山の里地里山」

問合せ：和歌山県自然環境室

TEL：073-441-2779

◆オーガニック料理教室

2019年1月27日(日) 10:00～12:00

場所：橋本市高野口地区公民館

主催：伊都・橋本地球温暖化対策協議会

参加費：大人700円、小人500円

問合せ：伊都・橋本地球温暖化対策協議会

TEL：090-1138-8388 (黒井)

◆和歌山県地球温暖化防止活動
推進員養成講座

1～3月開催

場所：和歌山市 紀の川市 御坊市 田辺市

※予定地 (変更の可能性あり)

◆地球温暖化防止活動推進員総会

2月開催予定

場所：和歌山市

詳しくは下記「推進員サイト」にてお知らせします

◆岩出市民ふれあいまつり

2019年3月3日(日) 10:00～16:00

場所：岩出市民総合保険福祉センター

岩出市金池92

問合せ：保険推進課

TEL：0736-61-2400

社会福祉協議会

TEL：0736-63-3246

あなたの活動をサポート わかやま推進員サイト わかやま 推進員 検索 イベント情報も随時更新

県センター通信

先日のおもしろ環境まつりは、暖かでとても穏やかな天気の中無事に開催できました。この場をお借りしまして関係者の方々に御礼申し上げます。参加した子供たちのキラキラした眼差しがとても印象的で、半年以上かけて準備してきたものが、功を奏した瞬間でした。まだまだ、子供たちに渡さなくてはならない「未来のバトン」はありますが、着実に手渡していけるよう取り組んでいきたいと思えます。

そしてCOP24開催。ますます世界レベルでの具体的な取組が急がれます。この結果は、次号でお知らせする予定です。来年も推進活動を支え、和歌山の温暖化対策を前にすすめてまいります。

2018 冬号 vol.31



発行／和歌山県環境生活総務課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL:073-441-2674 FAX:073-433-3590
mail:e0317001@pref.wakayama.lg.jp

編集・お問合わせ／和歌山県地球温暖化防止活動推進センター
〒641-0014 和歌山市毛見996-2
TEL:073-499-4734 FAX:073-499-4735
mail:wenet@vaw.ne.jp



この情報誌は古紙配合率100%再生紙を使用しています。